

English Garden 第65話

"The tanka form invites the poet to include briefly something of his subjective feeling."

James Kirkup

「短歌という形式は、自分の主観的な感情を簡潔にこめることを求める」 ジェームズ・カーカップ

この言葉はイギリスの詩人ジェームズ・カーカップ氏 (元東北大教授・日本女子大客員教授)の著書"A Book of Tanka" からとったものです。本書は古代から現代にいたる代表的な短歌の翻訳と、その形式による自作の詩を集めた Anthology(1996年University of Salzburg 発行)です。

この本の最初には、日本人にいちばん親しまれている歌集として、「百人一首」("One Hundred Poems by One Hundred Poets")が収められています。いくつかご紹介します。



Longer than hanging
tail of mountain pheasant, this
long, long autumn night

あし引きの山鳥の尾のしだり尾の
ながながし夜をひとりかもねむ
3 柿本人麿

separated from my love
and having to sleep alone.
At Suminoe
watching the incoming waves...
Why do I avoid

住の江の岸による浪よるさへや
夢の通ひ路人めよくらむ
18 藤原敏行朝臣

other's eyes, even at night,
going to meet my love in dreams?
Meeting you, after
so long, not even knowing
if it was you, or
not -- for you left in haste, like
the midnight moon hiding in clouds.

めぐり逢いて見しやそれともわかぬ間に
雲隠れにし夜半の月かな
57 紫 式部

俳句や短歌を翻訳する場合、訳者はまず原詩をばらばらにして完全に意味を理解してから改めてもう一つの言語に仕立て直し、リズムや韻を整える、ということです。これは散文を翻訳するときにもあてはまりますが、詩の場合は特にリズムや韻が大切な要素になるので、仕上げの作業にはこまかく心を配ることになると思います。

百人一首の英訳は本書のほかにも数多くあり、読み比べてみるとおもしろいのですが、感情がストレートに表現されているという意味では大差ありません。ふつう私たち日本人は幼いときから百人一首に親しみ、はっきり意味がわからなくても言葉の遊びのような音の美しさやリズムの心地よさに魅せられて暗誦していることが多いものです。それで、枕ことばや懸けことばや比喻などでほんわかとかもし出される情念が、英訳によってむき出しにされるとやや戸惑いを覚えますが、同時に、和歌の奥深さとすぐれた技法に改めて気づかされます。それをどこまで外国人に伝えられるかが大きな課題です。でも、日本文学を研究する外国人は増えており、私たちも、日本の文化を大切に受け継ぐと共に、積極的に海外に紹介する努力を進めなければならないと思います。

前回ご紹介した「奥の細道」の翻訳者のドロシー・プリトンさんは、いま万葉集の翻訳に取り組んでいます。昨年秋、私は同氏の「外国人にもわかる『日本の心』」と題した講演会を聞く機会を得ました。その席でプリトンさんは、詩全般の翻訳の話に加えて、万葉集の和歌を自身で英訳・作曲したものを、アイリッシュ・ハープを弾きながら披露されました。この演奏では万葉の歌の率直な感情が、アイリッシュ・ハープの素朴な音色に乗って素直に伝わってきました。最後にその歌の対訳をご紹介します。

On yon hill-side steep,
Waiting for you, my love
Waiting so long for you,
My lament was not though,
Drenched with drops of mountain dew.

大津皇子石川郎女に贈れる御歌一首
あしひきの山のしづくに妹待つと
吾立ち濡れぬ山の雲に

Waiting for me
My Lord was drenched through
How I envy you
O lucky, lucky dew!
Would I have been
That mountain dew.

石川郎女奉れる和歌一首
吾を待つと君が濡れけむあしひきの
山の雲にならましものを

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。